

プログラム

プログラム

共催セミナー 1 9:10~10:40

LIVE

薬剤師が緩和領域で活動する工夫 - 次の一步へ -

座長：壁谷 めぐみ（名古屋記念病院 薬剤部）

SS1-1 入院における病院薬剤師の緩和領域の活動、チームでの役割

演者：山本 泰大（小牧市民病院 薬局）

SS1-2 外来における病院薬剤師の緩和領域の活動、地域の繋がり

演者：江尻 将之（愛知医科大学病院 薬剤部）

SS1-3 がん治療から在宅看取りまでの保険薬局の関わり

演者：柴田 賢三（株式会社ヤナセ薬局 センター調剤薬局豊田厚生病院前店）

SS1-4 緩和薬物療法のアップデート、薬剤師の後進育成について考える

演者：宮崎 雅之（名古屋大学医学部附属病院 薬剤部）

共催：テルモ株式会社

シンポジウム 1 10:50~12:30

LIVE+ 後日オンデマンド配信

COVID-19 と緩和ケア

座長：伊藤 浩明（岐阜県立多治見病院 緩和ケア内科）

SY1-1 新型コロナウイルスと緩和ケア COVID-19 総論

演者：伊東 直哉（愛知県がんセンター病院 感染症内科部 / 感染対策部感染対策室）

SY1-2 コロナ禍における緩和ケアチームリモート回診の経験

演者：石黒 崇（岐阜市民病院 緩和医療センター）

SY1-3 コロナ禍で揺れ動く在宅医療について

演者：市橋 亮一（医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック）

SY1-4 コロナ禍での緩和ケア提供のあり方 ～緩和ケア病棟が感染症病棟へ転用となった際の対応から考える～

演者：青木 佐知子（海南病院 緩和ケア内科）

共催セミナー 2 12:40~13:40

LIVE

座長：下山 理史（愛知県がんセンター 緩和ケア部）

SS2 腎機能とがん疼痛

演者：山口 崇（神戸大学医学部附属病院 緩和支援治療科）

共催：塩野義製薬株式会社

座長：坂本 雅樹（名古屋徳洲会総合病院 緩和ケア外科）

SS3 ひとつおりのことをしても苦痛が緩和しない時の緩和ケア

演者：森田 達也（聖隷三方原病院 緩和支援治療科）

共催：第一三共株式会社

現場での工夫、アイデア ～こんなことやってます～

座長：今井 堅吾（聖隷三方原病院 ホスピス科）

SY2-1 緩和ケアでの音楽療法について

演者：柴田 麻美（福井県済生会病院 緩和ケアチーム）

SY2-2 お別れ会・シンパシーカード

演者：望月 佐知子（聖隷三方原病院 ホスピス）

SY2-3 味噌汁回診

演者：西村 幸祐（JA 岐阜厚生連 岐阜北厚生病院緩和ケアセンター）

SY2-4 臨床宗教師の活動について

演者：佐々木 昭一（真宗大谷派 認定臨床宗教師）

SY2-5 T-pal (tokaido pal) 東海地区若手医師中心オンライン緩和勉強会

演者：岡本 宗一郎（医療法人 貞栄会）

EL1 知っておきたいサイコオンコロジーのエビデンス：最新の知見を含めて

演者：明智 龍男（名古屋市立大学大学院 医学研究科 精神・認知・行動医学分野）

EL2 緩和ケアにおける褥瘡ケア

演者：祖父江 正代（JA 愛知厚生連 江南厚生病院 緩和ケアセンター / 看護管理室）

EL3 緩和ケアにおける心理士の役割 ～JA 愛知厚生連 海南病院の場合～

演者：川出 英行（JA 愛知厚生連海南病院 臨床心理士）

VitalTalk バイタルトーク ～重度の疾患を持つ患者とのコミュニケーションスキル～

演者：湯浅 美鈴（聖隷三方原病院 ホスピス科）

P-1 仙骨硬膜外エタノールブロックが会陰部痛に有効であった一例

鈴木優太郎、佐藤哲観、川上恭平、福富晃、大野茂樹

静岡県立静岡がんセンター

P-2 透析患者へのミロガバリン使用経験

本間恵子^{1,2)}、道渕道子²⁾、西川美香子^{2,3)}、平木祥子^{2,3)}

金沢医科大学麻酔科学講座¹⁾、金沢医科大学病院緩和ケアチーム²⁾、薬剤部³⁾

P-3 複数の消化管ステント留置が有効であった胃癌腹膜播種の一例

松浦彰彦、神原祐一、吉岡裕一郎、湯浅典博

日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院

P-4 がん終末期の呼吸困難緩和に難渋した一例

高島信世、古屋曜子

順天堂大学医学部附属静岡病院

P-5 重篤な呼吸困難に対し高用量のモルヒネ持続注とミダゾラムによる鎮静を必要とした一例

椿貴佳^{1,3)}、児玉麻衣子¹⁾、武藤悠平²⁾、小林美貴¹⁾、埴瀬里奈¹⁾、荒川佳代¹⁾、濱田知花¹⁾、浦井真友美¹⁾、廣野靖夫^{1,3)}、五井孝憲³⁾

福井大学医学部附属病院がん診療推進センター¹⁾、福井大学神経科精神科²⁾、第一外科³⁾

P-6 緩和ケア患者の筋肉量および筋力低下が予後に及ぼす影響

竹内知子¹⁾、水野愛¹⁾、伊藤真理²⁾、安永ちはる²⁾、戸田美佐子²⁾、春日井悠司³⁾、加藤涼子³⁾、江尻将之³⁾、森直治^{1,4,5)}

愛知医科大学病院栄養部¹⁾、看護部²⁾、薬剤部³⁾、緩和ケアセンター⁴⁾、愛知医科大学大学院医学研究科緩和・支持医療学⁵⁾

P-7 リアルワールドデータによる日本の終末期がん患者の経口食または経腸栄養剤の提供状況と輸液処方現状調査

野々垣知行¹⁾、前田圭介^{2,3)}、石田優利亜¹⁾、加藤涼子¹⁾、山中洋介⁴⁾、松山怜実⁴⁾、清水昭雄⁵⁾、上島順子⁶⁾、永野彩乃⁷⁾、森直治³⁾

愛知医科大学病院¹⁾、国立長寿医療研究センター 老年内科²⁾、愛知医科大学大学院医学研究科緩和・支持医療学³⁾、愛知医科大学病院 歯科口腔外科⁴⁾、浜松市リハビリテーション病院 栄養管理室⁵⁾、NTT 東日本関東病院 栄養部⁶⁾、西宮協立脳神経外科病院 看護部⁷⁾

P-8 緩和ケアにおける栄養管理～緩和ケア食導入について

石井要¹⁾、中野明日香²⁾

公立松任石川中央病院 外科¹⁾、栄養課²⁾

P-9 終末期がん患者のトランスサイレチン（TTR）を用いた予後予測から逸脱した症例に関する検討

村井美代、白井正信、伊藤彰博、藤崎宏之、都築則正、二村昭彦

藤田医科大学医学部 外科・緩和医療学講座

P-10 アドバンス・ケア・プランニングにより、1人暮らしの終末期がん患者が在宅療養へ移行できた一例

高島信世

順天堂大学医学部附属静岡病院

P-11 その人らしい生き方を支援する
－家族のために『自分の死に向き合い』治療に挑んだ症例－

奥野和美

医療法人永井病院

P-12 当院のアドバンス・ケア・プランニング普及における現状と課題
～人生の最終段階における医療についての確認書の活用状況から捉える～

平光慶子、多田里美、蓑島まなみ、北原多恵、澤田想、松下知路

岐阜赤十字病院 緩和ケアサポートチーム

P-13 その人らしく最期を迎える看取りケア

成岡宏子、吉間千恵、佐藤崇詩、小林千紘、鴨狩菜穂、林沙里、近藤浩子

NTT 東日本伊豆病院

P-14 抑うつ症状とがん患者の意思決定支援に関する一考察

隅田美紀¹⁾、浅野尚光¹⁾、曾我みゆき²⁾、松本卓也^{3,4)}

中津川市民病院 薬剤部¹⁾、看護部²⁾、麻酔科³⁾、病院前救急診療科⁴⁾

P-15 患者の意向を汲み取り伴走しながら療養生活を支えた一症例

武田ひろみ^{1,2)}、奥山徹¹⁾、山本あゆみ²⁾、妹尾恭司¹⁾

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 緩和ケアチーム¹⁾、看護部²⁾

P-16 積極的治療中止後も長期生存が得られている膵臓癌の一例

深澤美奈^{1,2)}、村上望²⁾、澤崎拓郎³⁾、梶浦新也⁴⁾、林智彦⁵⁾、渋谷和人¹⁾、藤井努¹⁾

富山大学 消化器・腫瘍・総合外科¹⁾、厚生連高岡病院 緩和ケアセンター²⁾、消化器内科³⁾、富山大学 臨床腫瘍部⁴⁾、なのはなクリニック⁵⁾

P-17 難治性心不全患者の退院支援 ～ドブタミ投与下での在宅療養調整～

松原貴子¹⁾、小坂絵里香²⁾、森脇啓至³⁾、良雪雅⁴⁾

三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター¹⁾、総合サポートセンター²⁾、循環器内科³⁾、いおうじ応急クリニック⁴⁾

P-18 カテーテル挿入部からの腹水のリークに対してストーマパウチを用いて対応することで在宅で持続的腹水ドレナージを継続することが出来た一例

宮国博也、榛葉誠、横田真美子

新城市民病院 総合診療科

P-19 外来化学療法室看護師の退院後訪問の意義の検討
～積極的治療を終えた患者の継続看護～

炭谷真由美、長久栄子、佐崎幸子、黒田充子、四枚田靖子
真生会富山病院

P-20 緩和ケアセンターにおける ICT 情報共有ツールの新たな活用

十二町美樹¹⁾、林龍二²⁾、梶浦新也²⁾、松長成美¹⁾、石倉恵美¹⁾、津田直美¹⁾、道田百代¹⁾、
塚田健一郎¹⁾、三邊義雄¹⁾、村上望¹⁾
厚生連高岡病院緩和ケアセンター¹⁾、富山大学臨床腫瘍部²⁾

P-21 終末期がん患者の自宅退院後訪問看護の同行訪問の振り返り

松井遊香、坂本雅樹、金子かの子、池戸貴子
名古屋徳洲会総合病院

P-22 地域がん診療連携拠点病院における緩和ケア病床運用と今後の課題

児玉麻衣子、椿貴佳、武藤悠平、埴瀬里奈、荒川佳代、小林美貴、浦井真友美、濱田知花、上谷幸男、
成瀬廣亮、廣野靖夫
福井大学医学部附属病院

P-23 訪問看護師による在宅終末期の ACP に関する語りの分析

増永悦子¹⁾、大谷尚²⁾、野村千文¹⁾、馬場美穂¹⁾
一宮研伸大学看護学部看護学科¹⁾、名古屋大学大学院教育発達科学研究科²⁾

P-24 若年がん患者に対する在宅医療の課題 ～主に居宅サービスの利用状況について～

西岡有紀、大石恭代、内山佳奈美、福本和彦
磐田在宅医療クリニック

P-25 緩和ケア病棟の COVID-19 感染対策

奥野直美
みなと医療生活協同組合協立総合病院

P-26 新生会第一病院における緩和ケア・3D チーム

古賀俊充¹⁾、榊原千穂¹⁾、岡田由加¹⁾、村地裕子¹⁾、戸田朋子¹⁾、原三幸¹⁾、恒川礼奈¹⁾、
松田はるみ¹⁾、伊奈研次¹⁾、壁谷めぐみ²⁾
新生会第一病院¹⁾、名古屋記念病院薬剤部²⁾

P-27 大学附属病院として独立型緩和ケア病院鈴鹿医療科学大学附属桜の
森病院開設の報告

渡部秀樹^{1,2)}、海野知美¹⁾、中村喜美子²⁾、大西和子²⁾、豊田長康³⁾
鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院¹⁾、鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科²⁾、鈴鹿医療科学大学³⁾

P-28 愛知医科大学病院緩和ケアチームにおける院内・外向け勉強会 & 連携カンファ
レンスの取り組み

森下祐一^{1,2)}、森直治^{2,5)}、戸田美佐子^{2,3)}、江尻将之^{2,4)}
愛知医科大学病院医療福祉相談部¹⁾、緩和ケアチーム²⁾、看護部³⁾、薬剤部⁴⁾、
愛知医科大学医学部大学院医学研究科緩和・支持医療学⁵⁾

P-29 レジリエンス向上のための具体的方法の検討 – 暫定最終報告 –

桶口史篤^{1,2)}、高橋麻友²⁾

くれよん在宅クリニック¹⁾、一般社団法人 EGGs²⁾